

株式会社タカラトミー  
2008年3月期 中間決算説明会

2007年11月20日  
証券コード: 7867

# 2008年3月期 中間決算概要

株式会社タカラトミー  
常務取締役 三浦俊樹

# 決算実績 P/L分析

TAKARA  
TOMY

【連結】

単位: 億円

	07.9			06.9	増減
	実績	年初見通し	修正見通し ※1	実績	
売 上 高	882	800	870	825	57
営 業 利 益	20	14	19	15	5
営業利益率	2.2%	1.8%	2.2%	1.9%	—
経 常 利 益	20	8	19	18	2
経常利益率	2.3%	1.0%	2.2%	2.2%	—
当 期 純 利 益	18	5	15	7	11
当期純利益率	2.1%	0.6%	1.7%	0.9%	—
1株当たり純利益 ※2	19.2	5.2	15.6	7.3	—

※1 修正見通しは、2007年10月16日発表値

※2 発行済株式総数 96,290,850株(9月30日現在)

# 決算実績 営業利益増減要因分析

TAKARA  
TOMY

## 【連結】

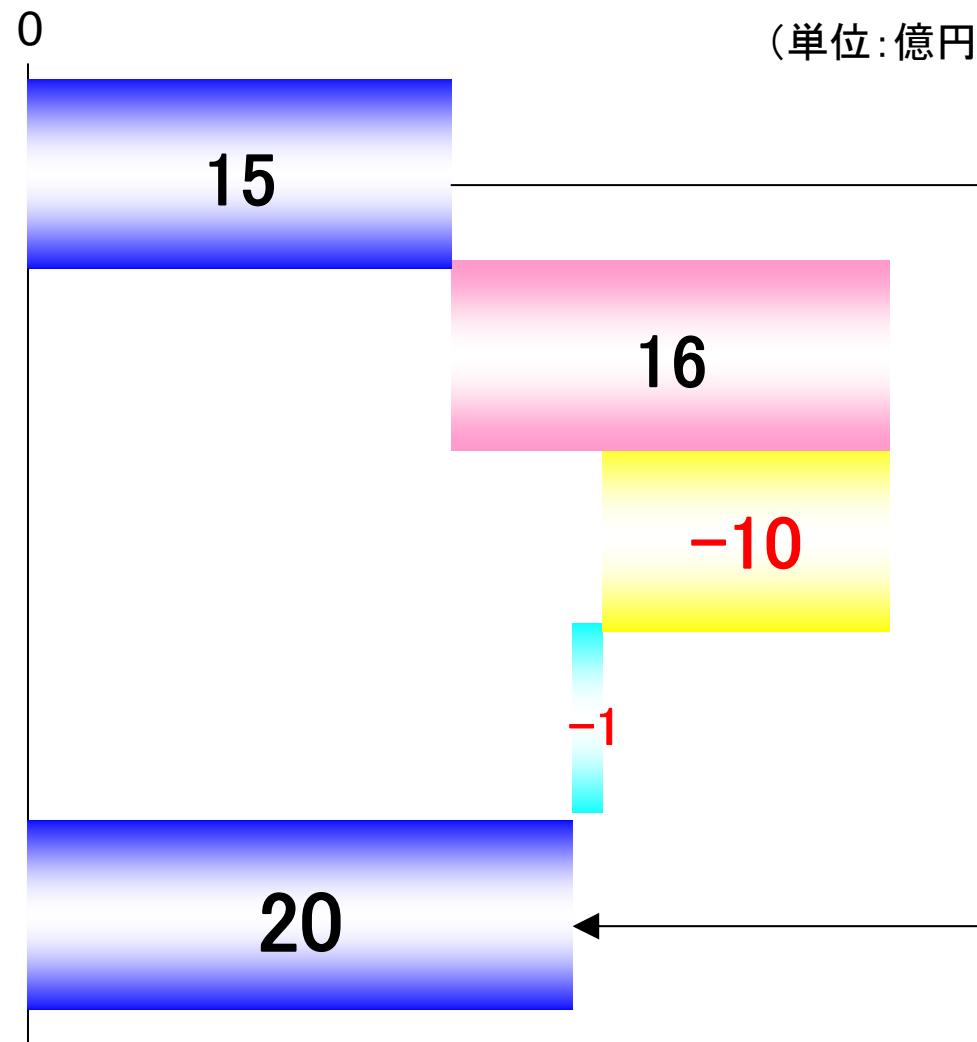
2006年3月期  
中間実績

売上増加による粗利増

原価率上昇による粗利減

販管費の増加

2007年3月期  
中間実績



# グループ主要会社の業績



単位:百万円

	売上高			営業利益		
	07.9	年初見通し	06.9	07.9	07.9計画	06.9
タカラトミー	34,912	31,000	31,613	1,351	500	338
トイズユニオン	25,453	23,048	17,437	517	604	790
トミーヨーロッパ	7,251	5,845	5,919	181	112	159
キディランド	5,668	4,689	-	-167	-196	-
ユージングループ	4,906	5,240	5,360	116	301	167
トミーテック	2,544	2,206	2,253	131	104	198
トミーコーポレーション	801	596	4,296	-69	-148	432
アトラス	-	-	9,274	-	-	133

※ トミーヨーロッパはトミーUKとトミーフランスの単純合算値

※ トミーコーポレーションは北米現地法人

※ 前年下期よりアトラスが連結から外れるとともに、今期からキディランドが連結入り

# コスト構造の変化

## 【連結】

単位:億円

	07.9	売上比	06.9	売上比
売上原価	643	72.9%	591	71.7%
販管費合計	219	24.9%	218	26.4%
人件費	85	9.6%	80	9.7%
広告宣伝費	41	4.7%	54	6.5%
研究開発費	13	1.5%	12	1.5%
物流費	23	2.6%	23	2.8%

## 【個別】

	07.9	売上比	06.9	売上比
売上原価	238	68.2%	209	66.0%
販管費合計	98	27.9%	104	33.0%
人件費	26	7.6%	28	8.7%
広告宣伝費	30	8.7%	36	11.4%
研究開発費	9	2.5%	9	3.0%
物流費	8	2.3%	8	2.6%

# 決算実績 B/S分析



【連結】

単位:億円

	07.9	06.9	増減
流 動 資 産	729	760	-31
固 定 資 産	333	385	-52
総 資 産	1,062	1,145	-82

流 動 負 債	445	573	-128
固 定 負 債	261	202	59
負 債 合 計	705	776	-71

自 己 資 本	326	284	
自 己 資 本 比 率	30.7%	24.8%	

た な 卸 資 産	158	160	-2
内、タカラトミー	37	44	-7

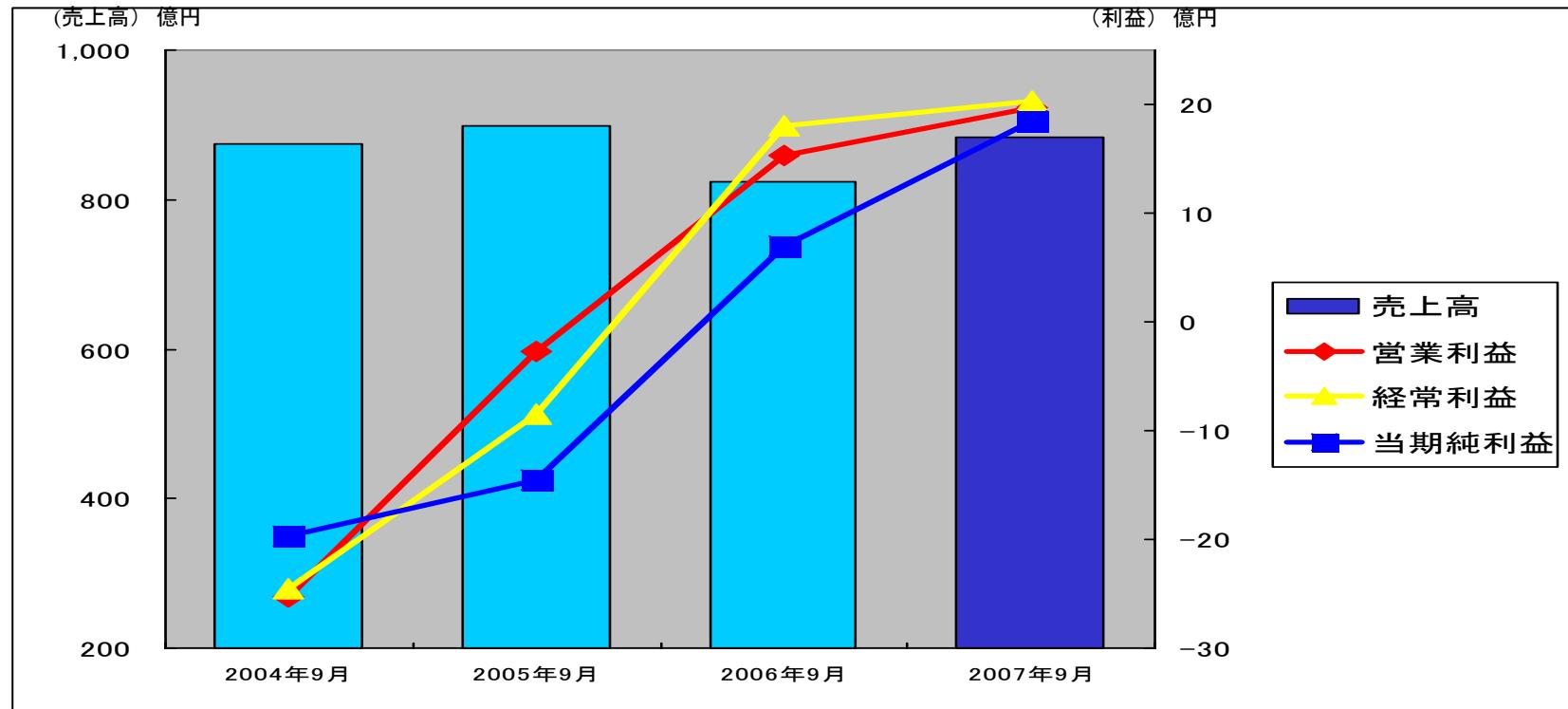
借 入 金	218	309	-91
社債、新株予約権付社債	179	108	71
( 有 利 子 負 債 合 計 )	396	417	-21

※ 借入金=短期借入金+一年以内返済予定長期借入金+長期借入金

※ 社債、新株予約権付社債=一年以内償還予定社債+社債+新株予約権付社債

# 中間期業績の推移

TAKARA  
TOMY



	04.9	05.9	06.9	07.9
売上高	875	899	825	882
営業利益	-25	-3	15	20
経常利益	-25	-8	18	20
当期純利益	-20	-15	7	18

(単位:億円) 04年度、05年度数値は、タカラとトミーの連結業績を単純合算した参考値です。

# 主要コンテンツ玩具売上高



【個別】

単位:億円

	07.9	06.9	概況
トランスフォーマー	63	22	ハスプロOEM好調。来年1月からアメリカにてアニメ放映開始
トミカ	33	25	トミカワールド、ハイパーシリーズ好調
ポケモン	33	19	映画と連動したタイムリーな商品展開成功
デュエルマスターズ	24	36	テレーディングカード人気復調の兆しあり
ディズニー	17	21	定番ラインを再構築し、商品力強化中
プラレール	16	15	「おおきなドームステーション」を機軸として展開堅調
リカちゃん	10	9	40周年リ・ブランディングにより遊びを再提案
チョロQ	9	7	デッキシステムで新たな遊びを提案
きらりんレボリューション	8	7	きらり2年目突入後も人気継続
エアロシリーズ、カウル	5	6	超低価格無線コントロールカー「カウル」8月発売

# 事業展開の報告

株式会社タカラトミー  
代表取締役社長  
富山幹太郎

# 既存事業の強化 I

TAKARA  
TOMY

<2007年度 経営方針> 国内事業基盤の強化

(1) 既存事業の強化 (2) オリジナルコンテンツの創造と育成 (3) 新流通戦略

## ① 定番ライン 高収益化に向けた“質”的転換

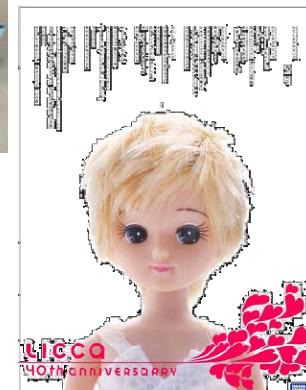
### ◆ トミカ

- 新たに「ハイパーブルー・ポリス」を加え、人気のハイパーシリーズを充実
- 「すいすいETC」など、トミカ世界観を広げる商品拡大
- トミカショップ「東京八重洲」「名古屋」に加え「大阪」オープン



### ◆ リカちゃん

- 40周年を期にリ・ブランディングイメージアップと購買層の拡大に成功
- 新ブランド「Licca Fraisboise」で、アパレル、雑貨、食器などオリジナル商品展開を開始



## 定番ブランド力の強化

商品ラインナップ拡大

マーチャンダイジング

ブランドショップ展開

商品世界観の醸成

# 既存事業の強化 Ⅱ

TAKARA  
TOMY

<2007年度 経営方針> 国内事業基盤の強化

(1) 既存事業の強化 (2) オリジナルコンテンツの創造と育成 (3) 新流通戦略

## ② 年齢軸の拡大

- ◆ 人生銀行シリーズ、いえそば、i-SOBOT  
大人をターゲットとしたラインアップ拡大
- ◆ タカラトミーR/C、赤外線コントロールカー  
は、大人・親子向け商品ラインアップ充実  
「タカラトミー」ブランドとして売り場確保



## ③ 玩具周辺事業の強化 ポケモンバトリア

- ◆ 「パック」「3対3のバトル」「フォーメーションの戦略」など新しいギミック採用が人気には
- ◆ 玩具売り場を中心とした設置戦略で“ポケモンの世界観”を醸成
- ◆ 設置台数  
9月末 1,000台
- ◆ 2007年度目標 <修正>  
設置台数 3,000台  
売上高 20億円(年初計画13億円)  
(※周辺玩具含む)



©2007 Pokémon.  
©1995-2007 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc. Developed by TOMY and AQ INTERACTIVE

# オリジナルコンテンツの創造と育成 I



<2007年度 経営方針> 国内事業基盤の強化

(1) 既存事業の強化 (2) オリジナルコンテンツの創造と育成 (3) 新流通戦略

## ◆ タツノココンテンツ アニメ「ヤッターマン」全国放送が決定

‘08年1月より 読売テレビ・日本テレビ系列 毎週月曜夜7:00

・ グループ全体で100億円市場の創造を目指す

商品展開のコンセプト 「親と子が一緒に楽しめる商品」



# オリジナルコンテンツの創造と育成 Ⅱ



<2007年度 経営方針> 国内事業基盤の強化

(1) 既存事業の強化 (2) オリジナルコンテンツの創造と育成 (3) 新流通戦略

## ◆ 上期「トランスフォーマー」の拡大成功

- ・ 映画に連動した商品投入により国内売上大幅増加 (国内 前年上期2億→11億円)
- ・ ハスプロ向け輸出も同様に拡大成功 (海外 前年上期20億円→52億円)  
※ アメリカ「クリスマスにほしいおもちゃランキング」で男児 トランスフォーマー1位

## ◆ 「トランスフォーマー」永続的な事業への展開

- ・ 12月19日 限定フィギア付き映画DVD発売 (パラマウントピクチャーズ)  
※ アメリカでは10月から発売開始し、800万枚販売
- ・ '08年春 アメリカ「トランスフォーマーANIMATED」放映開始
- ・ '09年6月26日 映画「トランスフォーマー2」全米公開予定

(※正式上映日は変更となる場合があります)



# 新流通戦略 I

TAKARA  
TOMY

<2007年度 経営方針> 国内事業基盤の強化

(1) 既存事業の強化 (2) オリジナルコンテンツの創造と育成 (3) 新流通戦略

## ① キデイランド 子会社化後の取り組み

- ◆ 不採算直営店 4店閉鎖  
1年前倒しで‘07年度黒字化を目指す
- ◆ 11月1日 「スヌーピータウンショップ」事業  
展開の基本合意を締結  
来年3月 東京駅一番街店オープン  
初年度 11店舗展開へ  
さらに、3年後30店舗・30億円を目指

**SNOOPY TOWN Shop**

PEANUTS © United Feature Syndicate, Inc.  
[www.snoopy.co.jp](http://www.snoopy.co.jp)



PEANUTS © United Feature Syndicate, Inc.  
[www.snoopy.co.jp](http://www.snoopy.co.jp)

## ② ブランドショップ展開

- ◆ トミカショップ  
7月に3店舗目「大阪店」オープン。



- ◆ リカちゃん～ Licca Fraisboise  
11月2日 イオンモール羽生  
" イオンモール鶴見リーファ店  
11月中旬 博品館



# 新流通戦略 Ⅱ

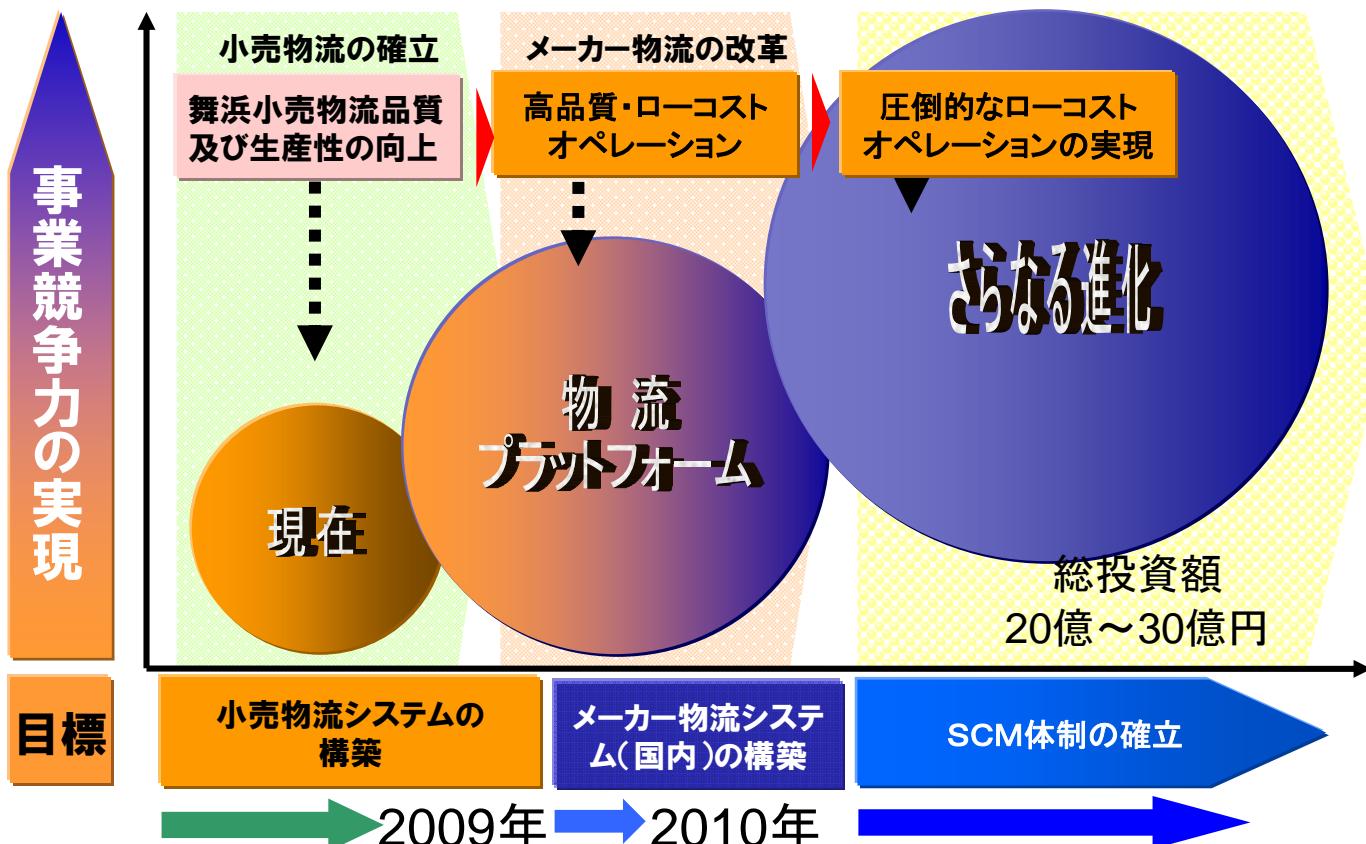
TAKARA  
TOMY

<2007年度 経営方針> 国内事業基盤の強化

(1) 既存事業の強化 (2) オリジナルコンテンツの創造と育成 (3) 新流通戦略

## ③ タカラトミー販売グループ

現在のメーカー物流から、小売物流まで拡大する“物流システム構想”に着手



# TPGとの業務提携進捗状況



1. 経営方針・事業運営アドバイス
  - ・中期戦略
  - ・年度予算
  - ・経営評価指標
2. グローバル・プラクティスの導入支援
  - ◆ 新製品開発業務改革PT
    - ・評価指標「KPI」(Key Performance Indicator)の再検討
    - ・適切な商品ポートフォリオの構成
  - ◆ 調達業務改革PT
    - ・パイロット・テスト終了。本格導入準備中
3. グローバル情報の活用
  - ・M&A(国内・海外)
  - ・生産拠点の再考



津坂代表



石田副会長



シュナイダーMD



アキーノD



徳山VP

※ MD:マネージングディレクター、D:ディレクター、VP:ヴァイスプレジデント

# 商品の安全性確保への取り組み

**TAKARA  
TOMY**

## 1. 安全対策について

生産工場監査による工場内管理の確認に加え、ロット毎の塗料を外部検査機関による試験成績報告書で安全を確認し、安全性を担保



## 2. 安全性強化のための動き

- ◆ 8月
    - ・中国 生産委託工場の再監査実施
    - ・当社舞浜倉庫 在庫品を抜き打ち検査
  - ◆ 9月
    - ・X線分析装置をトミーシンセン(中国深圳)に設置。外部検査機関による試験と併用し、塗料に含有する重金属の測定を実施中



## ※ X 線分析裝置



媒体名	日本経済新聞
掲載日	2007.8.29

## 中国玩具の安全対策強化



當考め四十人あるが、それ故に強化する必要がある。同社が国内で販売する玩具は、數量べつ一式の割合が中国で、トム・アンド・ジerryが中國で、日本から現地で輸入してから直営店で販売するもの多。全額保証は千葉県富安市で、有り難い事である。輸入する必用があり、外部の監査する委員会への委託などに年々努力がなされている。二〇〇六年を

タカラトミー  
バンダイ  
現法にX線分析装置  
協力工場の検査強化

が、今年度は対象を大幅に増やす予定。独自の品質基準が生産現場で直々に変化する。  
アカツ・ミツヒ

# 中国生産半減



本資料には、タカラトミーの現在の見通し、目標、計画、戦略など将来に関する記述が含まれておりますが、これらは現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいており、将来における当社の実際の業績または事業展開を確約したり、保障するものではありません。